

会 議 録

審議会等の 名称	令和元年第10回教育委員会（臨時会）
開催日時	令和元年8月1日（木）13：30～14：23
開催場所	山口市役所別館1階第2会議室
公開・部分公 開の区分	非公開
出席者	藤本教育長、宮原委員、佐々木委員、横山委員、竹内委員、佐藤委員、山本委員
欠席者	
事務局	藤本教育部長、吉村教育部次長、中村教育総務課長、重枝学校教育課長、足立学校教育課副参事、伊藤教育総務課主幹、岡本教育総務課副主幹
付議案件	議 案 （1）令和2年度使用小・中学校教科用図書の採択について
	<p>藤本教育長 ただいまから、令和元年第10回教育委員会（臨時会）を開会いたします。</p> <p> 本日の会議録の署名は、佐々木委員さんと竹内委員さんをお願いいたします。</p> <p> 本日の議案は、「令和2年度使用小・中学校教科用図書の採択について」の1件のみとなっております。</p> <p> それではまず、この議案の公開・非公開を確認いたします。</p> <p> 教科用図書の採択に関する案件でございますので、非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p> 非公開に賛成される方は、挙手をお願いいたします。</p> <p> （全員挙手）</p> <p> それでは、議案第1号については、「山口市教育委員会会議規則第9条」に基づき、秘密会により審議いたします。</p> <p> それでは、本日の流れを説明いたします。</p> <p> まず、事務局から議案第1号の「令和2年度使用小・中学校教科用図書の採択について」の総括的な説明いただきます。</p> <p> その後、小学校の種目毎に詳細な説明をいただき、それぞれご意見等をお伺いしたいと考えています。</p> <p> 小学校分がひと通り済みましたら、中学校分に移ります。</p> <p> 中学校分につきましては、昨年から変更がございませんので、全種目</p>

	<p>をまとめて説明をいただいた後、ご意見をお伺いしたいと考えています。</p> <p>そして最後に、小学校、中学校をまとめた議案第1号についての採決をとりたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>重枝学校教育 課長</p>	<p>それでは、議案資料①の1ページを御覧ください。</p> <p>議案第1号令和2年度使用小・中学校教科用図書の採択でございます。</p> <p>この採択の手續につきましては、まず、4月9日に県庁にて担当者会議があり、それを受けて、4月の教育委員会会議にて、山口市選定委員会設置要綱を定め、選定委員を委嘱したところでございます。</p> <p>そして、5月31日に、第1回山口市選定委員会を行い、選定の流れを確認いたしました。その後、小学校においては、6月6日、20日、7月4日に、中学校においては、6月7日、6月21日、7月5日にそれぞれ3回の教科書研究調査委員会を実施いたしましたところでございます。</p> <p>なお、研究調査につきましては、防府市、美祢市と合同で行っております。</p> <p>そして、7月23日、第2回山口市選定委員会を開催し、その場で調査研究結果の報告を受け、令和2年度使用教科書の選定を行い、議案資料①の1ページと2ページにございます教科用図書が選ばれております。</p> <p>なお、小学校の13種目につきましては、令和2年度から4年間、中学校の15種目につきましては、令和2年度の1年間のみ使用するものでございます。</p> <p>これからご審議をお願いいたしますが、詳細につきましては、事務局の足立副参事が説明いたしますので、よろしくお願いをいたします。</p>
<p>藤本教育長</p>	<p>足立副参事。</p>
<p>足立学校教育 課副参事</p>	<p>まず、資料②について説明をさせていただきます。</p> <p>1ページにつきましては、選定の対象となりました教科用図書の発行者の一覧表となっております。選定された発行者と選定外の発行者を分けて示しております。</p> <p>2ページから5ページにつきましては、選定委員会の報告資料でございます。</p> <p>そして、6ページ、7ページにつきましては、市内4カ所で実施いたしました教科書展示会で、市民の皆様からいただきました御意見やお考え等をまとめたものを掲載しております。</p> <p>8ページには、採択に係る要請書が届いておりますので、お示しております。</p>

それでは、2ページから資料を用いまして選定委員会の報告を兼ねて、選定案について説明をさせていただきます。

まず、小学校の13種目についてご報告いたします。

最初に、国語についてです。

選定しました発行者は、光村図書でございます。選定理由は、内容がバラエティーに富んでいる。他教科とのつながりや関連がうまく図られている。低学年において、学習の基本である姿勢や鉛筆の持ち方について、写真などで児童みずから確認できるページが充実しているということでした。

続きまして書写でございます。発行者は、光村図書でございます。選定理由は、よい例、悪い例を示し、文字の書き方を比較することで、問題解決学習ができる。キャラクターを利用し、文字の特徴等を視覚的に捉え、美しい文字へと導く工夫がされている。国語科や他教科、さらには連絡帳等、書写で学習したことが日常生活に生かせるようになっている。

続きまして、社会でございます。発行者は、東京書籍でございます。選定理由につきましては、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「いかす」の項立てがあり、問題解決的な学習の流れが視覚的・構造的に示されている。学習の流れ、本時の位置づけ、今後の見通しが立てやすい。

続いて、地図でございます。発行者は、帝国書院でございます。掲載内容が、学年の段階を追って使いやすい。ガイドがあり、1人で学習するのに使いやすい。地図の表示がすっきりしていて見やすい。色彩がよく、目に優しい。地図記号が見やすく、わかりやすい。

続きまして、算数でございます。発行者は、啓林館でございます。選定理由につきましては、同一領域の内容が続かないように配列する等、内容の系統性だけでなく、習熟に要する時間や時期等にも配慮されている。どの学年においても、既習事項とのつながりが明記され、系統性に配慮されている。多くのページにQRコードが掲載されている。

続きまして、理科でございます。発行者は、東京書籍でございます。選定理由は、問題解決の過程を「学びのライン」によってわかりやすく示してあり、知識の確実な定着のために、簡潔でわかりやすい箇条書きでまとめが表記されている。児童みずからが主体的な学びをスタートできるように、単元の導入で簡単な実験を体験したり、写真を見たりする活動が設定されている。A4版の大きさを生かして、余白を適度に確保しながら、参考となる活動の紹介や資料などを充実させている。

続きまして、生活でございます。発行者は、啓林館でございます。選定理由は、生活科において、学びの連続性が重要であることから、児童や若い教師にとって学びの姿勢がイメージしやすいものになっている。紙面右下の「めぐり言葉」というものがございますが、それが連続性を

	<p>重視され、児童の意欲を喚起し、思考の流れに沿った工夫がされている。</p> <p>続きまして、音楽でございます。発行者は、教育芸術社でございます。選定理由は、合科的なつくりであり、他教科や地域社会とのつながりがある。音づくり学習での活動例が示してあり、児童が主体的に取り組める工夫がある。主題名がはっきりして、6年間を通して段階的に学びが発展するよう構成されていることや、器楽の技能が発達段階に応じて無理なく習得できるように配慮されている。</p> <p>続きまして、図画工作でございます。発行者は、日本文教出版でございます。選定理由は、おのこの作品づくりにおいて、スモールステップで丁寧な説明があり、子どもたちが理解しやすいように工夫されている。子どもの興味・関心を高める題材の図版が豊富に掲載されている。全ての題材が、見開きで紹介され、巻末資料も充実している。</p> <p>続いて、家庭科でございます。発行者は、開隆堂でございます。選定理由は、文章中の重要語句が行をまたがないように構成されている等の配慮がある。左利きの児童への道具の使い方が示された内容を含んでいる。巻頭には2年間の学習の見通しが、巻末には振り返りが掲載され、小学校と中学校の学びのつながりをイメージしやすくなっている。</p> <p>続いて、保健でございます。発行者は、学研でございます。選定理由は、資料、学ぶべき内容、科学的な理解に結びつかせる内容のバランスがとれているので、学びやすい。目次の見やすさととつきやすさがある。写真とイラストを適切に使い分けている。教科書の大きさ、厚さ等、量的に厚すぎず、薄すぎず、ちょうどよい。</p> <p>続いて、外国語でございます。発行者は、東京書籍でございます。選定理由は、単元や学期ごとに何を学ぶのか、何ができるようになるのかが明確に示されており、学習スタイルも統一された構成になっている。学びを発展させるページが設けられている。別冊 Picture Dictionary がついており、表現や単語を調べることができる。</p> <p>最後に、道徳でございます。発行者は、東京書籍でございます。選定理由は、授業の流れに多様性を生むために、別冊があるのは除外した。授業者や児童の実情に合わせて教材の配列を柔軟に調整することができる。多様な意見が出しやすく、積極的に議論できる教材が多い。保護者の立場としても議論しやすい点が評価できる。</p> <p>以上でございます。</p>
藤本教育長	<p>それでは、小学校の13種目につきまして、それぞれご意見等をお伺いしたいと思います。</p> <p>それでは、まず国語について、意見、ご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>宮原委員。</p>
宮原委員	<p>新学習指導要領に基づいた内容となっており、どの教科書もこれまで</p>

	<p>とは大きく変わっていました。どの教科書も充実しているのですが、全体的に内容が盛りだくさんで、文字数が多くなっていると感じています。</p> <p>その中で、光村図書は、他に比べて内容がよりバラエティーに富んでいる。他教科とのつながりについては、クリックマーク等で詳しく例示がされている。また、小学校1年生の最初の部分ですけど、文字を書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について、とても丁寧に写真で示してあるので、児童がそこを見て確認できるという点ですぐれていると感じました。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございました。貴重なご意見、ありがとうございました。ほかにございますか。</p> <p>では、続きまして、書写について意見や質問がございましたら、お願いいたします。</p> <p>横山委員。</p>
横山委員	<p>選定委員会の討論中に、小学校については国語と書写の内容が一致したほうが良いという意見がありまして、内容が良いということはもちろんですが、書写の連続性といいますか、そのあたりを皆さんが強調されていました。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございます。ほかにございますか。</p> <p>それでは、続きまして社会について、意見、質問等ございますか。</p> <p>佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>学習の流れや本時の位置づけなど、努めて捉えることができ、捉えやすいということが言えると思います。また、視覚的・構造的に記されているということと関係しますけれども、見やすく、その時々々の位置づけというものがわかりやすい形になっていると思いました。</p>
藤本教育長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。ほかにございますか。</p> <p>それでは、地図につきまして、意見、質問はございますか。</p> <p>佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>地図帳に関しては、2社のどちらもそれぞれの工夫がありました。一番違うのは地図帳の使い方というところで、地図記号の説明が、今回採択された帝国書院の方がわかりやすいという意見が多かったです。</p> <p>もう一点、色彩について。ことしから黄緑色のような色彩を地図帳に使われていて、マイルドな色彩で見やすく、子どもたちにもなじみがいいのではないかとのことでした。</p>
藤本教育長	<p>地図については、ほかにございますか。</p> <p>ないようでしたら、続いて算数について、意見、ご質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>竹内委員。</p>

	<p>竹内委員</p> <p>6社の中から選んでいくわけですが、プログラミングに関しては、どの出版社にも大体2ページずつぐらいありました。</p> <p>啓林館が選ばれた理由は、例えば、2年生には、足し算、引き算というのがありますけど、その單元の中で、一度長さの單元を学習して、足し算、引き算をまた学習するという形で、系統立てて習熟していくための時間が入っているという点が評価されたものです。</p> <p>また、各ページにQRコードがつけてあります。</p> <p>以上です。</p>
	<p>藤本教育長</p> <p>ほかにご意見はございますか。</p> <p>続きまして、理科について、意見、ご質問をお願いいたします。</p> <p>山本委員。</p>
	<p>山本委員</p> <p>理科の選定にかかわらせていただいたのですけれども、いろいろな会社の教科書を見て思うのは、時代が進んでくると、どこの会社もしのぎを削っていて、大きな差がなくなってきたと思います。</p> <p>しかしながら、東京書籍さんについては、このたびA4版を採用されたところですよ。ほかの会社は、みんなAB版です。A4版という大きさが、どのくらい影響を与えるのかなと思いながら、選定の様子を見守ったのですけれども、インパクトがあったようです。</p> <p>ただ単にAB版がA4版に変わって、字が大きくなって、絵が大きくなり、写真が大きくなっただけなのかというと、そうではなく、新しい学習指導要領にのっとり、主体的で深い学びという、そのあたりに踏み込んでいくような学びのスタイルが、要所毎に記されております。</p> <p>また、東京書籍が売り物にしていた「学びのライン」という問題把握から始まって、実験をまとめるという流れが、別の会社もそれを採用しているところはあるんですが、東京書籍さんの資料の色合いや実験の示し方等が、ほかの会社に比べて秀でていたということで、東京書籍が選ばれております。</p> <p>それからもう一つ。これは表面的なことでは採択に直接は関係しませんが、東京書籍さんの教科書には、山口県立博物館が載っております。山口県の子どもたち、特に、山口市の子どもたちにとっては親しみのある教科書になりやすいのではないかと思います。</p> <p>教科書が全部厚くなって大きくなったので、一番気になったのは、子どもたちが持って帰ったりするときの重さです。私は、1冊1冊を全部はかってみました。すると東京書籍さんより重たい教科書が、ほかにもありまして、A4版になったから一番重いとは言えないなという結論になりました。そういったところも含め、東京書籍さんが選ばれたところですよ。</p>
	<p>藤本教育長</p> <p>ほかの会社の教科書は、厚さがあるのですか。</p>
	<p>山本委員</p> <p>かなり厚いものもあります。6年生の教科書は、1冊が530グラム前</p>

	<p>後です。2冊集まれば、もう1キロになります。</p> <p>以上です。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見ございませんか。</p> <p>それでは生活につきまして、意見、ご質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>横山委員。</p>
横山委員	<p>先ほど算数でも言われましたけど、生活にも、單元ごとにQRコードが入ってしまっていて、タブレットを使って学習するという、新しいやり方だと思いました。</p> <p>以上です。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見ございませんか。</p> <p>それでは、音楽につきまして、意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。</p> <p>宮原委員。</p>
宮原委員	<p>教育芸術社と教育出版は甲乙つけがたい教科書でした。さまざまな教科や地域社会とのつながりについても、どちらも配慮がなされていて、よい教科書だと思います。新しく学ぶ、楽譜の習得、それから器楽に初めて触れるときに、発達段階に応じて、子どもたちが無理なく学習に入っていけるようにという点で、1つ例を挙げると、リコーダーについて、教育芸術社には、リコーダーが描いてあって、穴開けとか、閉じるとか、番号も振ってあります。教育出版も、ほとんど同じではありますが、番号が打ってないなど、ちょっとした違いがあります。一方で、最後のページのページには、番号が振ってあり、まとめたものもありますが、初めてリコーダーを手にした子どもたちが、どちらが無理なく慣れられるかということ考えた結果、教育芸術社が選ばれたところです。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございます。発達段階に応じて習得ができるようになっていくということですね。そのほかにご意見ございませんか。</p> <p>それでは、続いて図画工作につきまして、意見、ご質問はございませんか。</p> <p>竹内委員。</p>
竹内委員	<p>図画工作については2社ございまして、子どもの興味・関心を深めるような題材がたくさんあったということで、理解しやすいようにつくられているのではないかというあたりが、日本文教出版が選ばれた理由だと思います。</p>
藤本教育長	<p>図画工作につきまして、ほかにご意見ございますか。</p> <p>それは、家庭について、意見、ご質問はございませんか。</p> <p>竹内委員。</p>
竹内委員	<p>家庭については、開隆堂と東京出版の2社で選びました。開隆堂につ</p>

	<p>いては、私が中学校の技術家庭科にいた関係で、使ったことがあるのですが、意見を聞いていても、私には、差はほとんどないように思えましたけれども、開隆堂には、左利きの子どもに対する配慮もあり、よく気をつけているなということを感じました。</p> <p>また、中学校へのつながりについても配慮がしてあるように感じました。</p>
藤本教育長	<p>家庭について、ほかにございませつか。</p> <p>続いて、保健につきまして、意見、ご質問がございましたら、お願いいたします。</p> <p>佐藤委員さん。</p>
佐藤委員	<p>保健の教科書のみ、今まで使っていたものと少し変わっていて、今回配っていただいている協議結果の中で、バランスであるとか、ちょうどよいという言葉がありますが、そのあたりを補足させていただきたいと思ひます。</p> <p>まず議論したのは、書き込み欄です。書き込むという作業が多いほど、主体的な学びにつながりやすいと考えられるのですが、教科書全体のページ数が限られているので、書き込みに割く分量が多いと、その分だけ資料は減ってしまうこととなります。そこで、書き込みと資料のバランスという点で選定したのが、今まで使っていた東京書籍と大日本図書と学研の3社です。</p> <p>その3社の中で、次は資料について議論しました。3社とも扱っている内容に大差はなかったため、表現方法に議論が進みました。</p> <p>具体的には、写真を用いるかイラストを用いるかです。イラストのメリットは、優しいトーンでとつきやすいという点。写真のメリットは、よりリアリティがあり、科学的根拠などのインパクトがあるところてす。</p> <p>3社を見比べると、大日本図書はイラスト中心で、とても親しみやすいイメージでした。また、B5版で、ページ数も少ないために、手に取りやすいというメリットもあります。ただし、その分情報量が少なくなっています。</p> <p>その対照的になっているのが、今まで使っていた東京書籍で、写真がふんだんに使われています。ただし、必ずしも写真でなくてもよい箇所にも写真が用いられているような印象を受けました。気になったのは、各章、各節の冒頭に大きな写真が使われているのですが、作り込まれた写真のために、少し不自然さを覚えるような写真もありました。また、イラストのほうが、メッセージが伝わることもあるのではないかという意見も出されました。さらに、そうした写真が大きいこともあり、結果的にページ数がふえてしまっています。特に5、6年生では差が大きくて、81ページあります。これは、学研57ページ、大日本図書57ペ</p>

	<p>ージと比べてかなり多く、手に取っても少し重く感じます。</p> <p>そのような議論を経て、学研は、それぞれのことにおいて2社の中庸であり、資料と書き込みのバランス、資料に用いられるイラスト、写真のバランスなどが大切ではないかという意見で一致して、採択案としました。</p> <p>以上です。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございました。ほかにございますか。</p> <p>続きまして外国語につきまして、意見、質問がありましたら、お願いいたします。</p> <p>佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>先ほどもご報告がありましたけれども、学びを発展させるページが設けられているということで、例えば、世界の多様性に触れることのできるページ、「Over The Horizon」という名称だったですけれども、そういうものが設けられているということがありまして、発展性、発展した内容、それから、そういうようなページということで、学習者のほうもそれが意識できるのではないかなというふうに思います。</p> <p>また、これもご報告にありましたが、Picture Dictionaryという別冊のものが、これはまたすぐれたもので、絵入りの辞書ということになりますけど、薄い冊子ではありますけれども、そういったことで辞書を引いたり、それを使って単語を調べたりするのはもちろんですけれども、表現を調べるというようなこともできますので、その後の辞書利用にも、絵入りですので、抵抗なく進んでいけるかなというふうに思いました。</p> <p>以上です。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>別冊がついているのは、他にもありますか。</p>
右田学校教育課副参事	<p>別冊がついているのは、東京書籍のみでございます。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>外国語について他の御意見等はございますか。</p> <p>最後に道德について、お願いいたします。</p> <p>山本委員。</p>
山本委員	<p>説明にありました、多様性を生むために別冊があるものは除外したという点ですけれども、これまでの道德指導が、文部科学省発行の「心のノート」に基づいてなされてきたというところから、それにかわるものをつけたほうがよいのだろうという教科書会社の判断があったかもしれません。</p> <p>ただ、道德ノートを使って推し進めることによって、道德の価値の押</p>

	<p>しつけになるのではないかという懸念を多くの方が持っていらっしゃるということを考え、道徳をノートによって引っ張っていくのはどうかというところから、別冊ノートがあるものは除外させてもらったと。</p> <p>その上で、題材の配列であるとか、価値の取り扱いであるとか、そういったものを判断したときに、東京書籍の教科書が一番多様性を生むのに適しているのではないかということから、選ばせていただいたところではあります。</p> <p>特に、先ほど申しました価値の押しつけにならない。そして、道徳の授業が、オープンエンドとはいわないまでも、個々の一人一人が、価値観が自分なりに高まったところで授業が終われる教科書はということから、東京書籍という判断をした中、協議の委員さんにPTAの代表の方もおられて、今からの道徳は、家でも題材に基づいて子どもたちと話がしたいと、そうしたときに、東京書籍の題材だったら、家でも話題にできそうな気がするというご意見もいただいて、東京書籍を選ばせていただきました。</p> <p>ほかにも、私は個人的に、いわゆる共通教材というか題材が、例えば1年生では、「はしの上のおおかみ」とか、これはどこの教科書会社にも載っているのですが、それを全部抽出して並べて検討させてもらいましたけれども、それをやってわかるのは、どこの教科書会社さんも、微妙に内容が違っていました。表現の仕方が。大きくは、その流れは変わらないのですが、表現の仕方が違うことによって、その言葉に着目させた上で、自分たちがとっている教科書会社の編集方針にのっからせようという意図が確かに見えます。そういうところから、どこがいいのかと選んでいくと、東京書籍の表現がシンプル、「はしの上のおおかみ」だけでいうと、表現がとてもシンプルで、子どもにいろいろなことを考えさせられることができると思ったところではあります。</p> <p>以上です。</p>
藤本教育長	<p>考える授業ができるというか、地域とか保護者の参画型の授業にも応用ができるということですか。</p>
山本委員	<p>そういうことになります。</p> <p>特に、PTAの方が、家でもいろいろな話がしてみたいとおっしゃったように、今からの道徳は、そう考えるのが本当かと思えます。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございました。ほかにございますか。</p> <p>それでは続きまして、中学校の15種目について、事務局から説明をお願いいたします。足立副参事。</p>
足立副参事	<p>続きまして、中学校の15種目についてご報告をいたします。</p> <p>小学校と同様に、研究調査の報告を受けまして、協議を十分に重ね、選定を行いました。特に山口市内の生徒、そして教職員にとってふさわしく使いやすいものという観点から選定をしております。</p>

	<p>詳細につきましては、4ページ、5ページにお示しをしておりますとおりでございますので、詳細についてはそちらを御覧いただければと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
藤本教育長	<p>それでは、中学校の15種目につきまして、意見や質問等はございませんか。</p> <p>佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>音楽の一般と器楽については、教科書は、音楽の一般、器楽の区分があるのですが、その場合に、例えば、技術家庭の技術と家庭は全く別の教科書ですが、音楽は一般と器楽を同じ曲が使われているなど、連動性が高いのですが、この選定の方法として、セットで考えるのか、それぞれを考えるのかというところが、曖昧になっているのではないかという意見が出ました。</p> <p>今回は、それぞれを見ていこうということで、それぞれを見て結果的にどちらも教育芸術社ということで選定したということになったのですが、例えば国語と書写の扱いとは、また何か違うのではという意見がありまして、そのあたりがどうしたらよかったのかわからないような結果でした。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございます。ほかにございますか。</p> <p>横山委員。</p>
横山委員	<p>美術については、3社で見させてもらった中で、絵とか工作物とかが、いうなれば昔からのプロの絵描きさんの絵と、生徒の作成したものがたくさん載っているというのがあったのですが、日本文教出版が、プロが描いた絵が一番多かったです。</p> <p>協議では、どちらに比重を置くかということになると、名画の資料がたくさん載っていたほうが、教科書としてはいいのではないかという意見が出て、こういう形になりました。</p>
藤本教育長	<p>わかりました。ほかの方は、よろしいですか。</p> <p>竹内委員。</p>
竹内委員	<p>地図は2社ありまして、東京書籍と帝国書院です。</p> <p>東京書籍は全体的に優しいのですが、色が薄くなっています。それに対して、帝国書院は、色がはっきりしていて見やすいというのが、選定理由の一つとなっています。</p> <p>また、協議結果の2番目にも書いてありますが、例えばヨーロッパの地図があると、その横に日本の地図が赤い線で書き込まれていて、比較ができるところが何ページか用意してあります。</p> <p>加えて、統計資料がわかりやすいというあたりが、選ばれた理由です。</p> <p>技術家庭については、技術が東京書籍。これは、ページが見開きになっていて、一つの作業の流れがよくわかります。また、全体的に広く浅</p>

	<p>なくなっており、全体が見えるということがあります。</p> <p>それから、技術家庭科は、技術と家庭科が同じ出版社がいいというのがありましたけれど、今までの流れを大切にしたいという先生方の意見があり、家庭科は開隆堂が選ばれております。</p>
藤本教育長	<p>ほかにございますか。</p> <p>宮原委員。</p>
宮原委員	<p>公民については、引き続き東京書籍ですが、特徴的なものは、生徒自身がより望ましい社会を考えるために、いろいろな知識、制度やシステム、憲法や法律などの知識に基づいて社会の現状や課題を分析する。</p> <p>そして、生徒自身が社会に参画していくための話し合いが設定されていたり、地域社会の中でかかわっていくための具体的な例が示されたりしていて、生徒にとって必要になっていくことだと皆さん考えました。その点がとても特徴的で東京書籍が選ばれたと思います。</p> <p>また、数学については、単元の導入部分で、これまでの積み重ねの部分について復習を丁寧に行うという点。それから、章末問題の内容が充実していて振り返りがしやすいという点。そして、数学で学んだことがどんなふうにも生活の中で使われるか、そして使えるかということがたくさん例示されていて、そういった問題が豊富で日常生活の中での数学への関心が高まるように工夫がされているという点で日本文教出版が選ばれました。</p> <p>以上です。</p>
藤本教育長	<p>生活との関連というのが一つのキーワードですね。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>山本委員。</p>
山本委員	<p>社会科の歴史ですけれども、調査委員の先生方は、日ごろから社会科の授業を展開していらっしゃる先生方ですから、そういう方が選ぶ教科書なので資料性の問題とか、あるいは子どもたちが自分で家に帰って勉強しやすいとか、そういった視点で見たときには、帝国書院だとおっしゃいます。</p> <p>私は、そういったことも前提にしながら、尖閣諸島の問題であるとか、竹島のことであるとか、そういったことを個別に全部洗い出してみましたけれども、帝国書院と東京書籍は丁寧に書いてあります。この丁寧に書いてあることがどうなのかと調査委員の先生にお尋ねしましたら、これが偏っている書きぶりでもなく、私たちとしては、これだけ書いてもらっていたほうが授業としては取り扱いやすいとおっしゃいました。</p> <p>ほかのところは軽く取り扱っていて、帝国書院や東京書籍のほうが私たちとしてはありがたいという御意見をいただきましたので、この東京書籍と帝国書院、どちらがいいのかということで見てもみたら、よく源頼朝像が話題になりますが、史実からすると本物ではないらしいとい</p>

	<p>う意見もある中で、どこの教科書会社も頼朝像は肖像画を使わずに座像を展開しているのですが、東京書籍だけ、肖像画となっています。そういったところもあって、帝国書院がいいと私自身は納得をしました。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございます。 その他よろしいですか。 佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>私は、社会の地理を担当させていただいたのですが、見開きのスタイルで、1単位時間についての視点が明示されていることが一つと、写真が非常に見やすく、わかりやすい。これは検討の過程で幾つもの写真を見比べてはっきりと納得をしたのですが、見開きで見やすく写真の資料も非常に質が高く、教材としてもすぐれているなというふうに思いました。</p> <p>それから、できるだけ本文中に説明を加えるという方針でつくられているので、逆に言うと、コラムとして別枠で用語等の説明をしないやり方ですけど、そのほうが一気に読み進められて、その中で重要事項についても理解できるというふうにされていて、それも評価されたポイントでした。</p> <p>それから見開きということであると、私が、もう一つ担当させていただいた外国語も東京書籍は見開きというスタイルをとっておりまして、左右のページで一つのセットでわかりやすい、見やすいということがあります。</p> <p>それから、東京書籍はテーマが豊富で、世界平和ですとか非英語圏の文化も扱っておりますので、そういった点でも評価が高かったかと思えます。</p> <p>以上です。</p>
藤本教育長	<p>ありがとうございました。 その他、全般を通して何かございますか。 それでは、以上の全てが、議案第1号ということになります。議案第1号につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。 それでは、原案のとおり決定したいと思います。 以上で、本日の付議案件については終了いたしました。 次回の定例会は、こちらの第2会議室で、8月27日火曜日、午後2時からの予定でございます。 以上をもちまして、令和元年第10回教育委員会臨時会を閉会いたします。</p>

署名	<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和元年8月1日</p> <p>教育長 _____</p> <p>署名者 _____</p> <p>署名者 _____</p> <p>会議録調製 _____</p>
----	---